

いばらき能 — NOH@IBARAKI

仕舞 枕之段 山本章弘

狂言 附子 善竹隆平

能 船弁慶 山本章弘

前後之替

平成30年 3月11日(日) 午後2時開演 / 茨木クリエイティブセンター・センターホール

◆主催 公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆制作 公益財団法人山本能楽堂 / 三栄企画 ◆後援 茨木商工会議所 / 茨木市観光協会

FUNA-BENKEI



山本章弘(やまもとあきひろ)

昭和35年11月生まれ。幼少より父、故山本真義に師事し、昭和58年、故25世宗家観世左近に入門。昭和63年独立。現在26世宗家観世清河寿に師事。3歳にて初舞台。主な抜曲は「石橋」「狸々乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」「砧」など。海外公演は、米・ワシントン、インド、オーストラリア、イタリア、フランス等に参加。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財保持者総合指定。日本能楽会々員。関西大学能楽部講師。観世流発祥の地・奈良県結崎にある川西小学校の総合学習の能楽講師をつとめるほか、「アートによる能案内」「能とあそぼう」など、子ども達へ能楽の普及に努める。公益財団法人山本能楽堂代表理事として、「とくい能」「上方伝統芸能ナイト」などの新事業を立ち上げ、あらゆる世代に向け新たな能の魅力を伝えるべく、積極的に普及活動を行っている。「大阪文化祭奨励賞」「なにわ大賞大阪21世紀協会賞」などを受賞。

●山本能楽堂公式ホームページ
<http://www.noh-theater.com/>

◆見どころ解説———山本章弘

◆仕舞 枕之段———光源氏の愛人であった六条御息所の生霊が破れ車にのって現れ、光源氏の愛を失った恨みを綿々と述べ、葵上の枕元に立って、責め苛み、幽界へ連れ去ろうとします。

- 山本章弘
地謡 赤瀬雅則
林本大
今村哲朗
山本麗晃

※仕舞とは、能一曲のうち部分のみを、囃子を入れず、地謡のみで、装束を用いず演じる形式です。

◆お囃子解説———斉藤敦 古田知英 守家由訓 中田弘美

◆狂言 附子———

- シテ(太郎冠者) 善竹隆平
アド(主) 善竹忠一郎
アド(次郎冠者) 上吉川徹
後見 上西良介

山一つ向うまで出かける主人は、太郎冠者と次郎冠者に留守番をいっつけます。主人は二人に桶を見せ、この中には附子という毒が入っていて、その方から吹風にあたっただけで死んでしまうくらいだから、絶対に近づかないようにと言いつけて出かけてます。しかし、だめだと言われると、やってみたくて人情。二人は、こわごわ桶に近づき、中を覗き込みます。すると、中身は附子ではなく、おいしそうなお砂糖だったのです。二人は我慢できず、つい砂糖を口にしてしまい、とうとう全部平らげてしまいます。そして、言い訳のために主人秘蔵の掛け軸や天目茶碗を壊して、大声で泣きながら主人を待ちます。二人は、驚き怒る主人に、わけを話すのですが…。

一休さんの頓知ばなしとしても登場する有名な狂言です。

◆能 船弁慶 前後之替———

- シテ(静御前・平知盛/怨霊) 山本章弘
子方(義経) 吉井晟朝
ワキ(弁慶) 福王知登
ワキツレ(従者) 喜多雅人
是川正彦
アイ(船頭) 善竹隆平
後見 松浦信一郎
赤瀬雅則
地謡 吉井基晴
林本大
今村哲朗
山本麗晃
笛 斉藤敦
小鼓 古田知英
大鼓 守家由訓
太鼓 中田弘美

平家追討に功績をあげた源義経でしたが、頼朝に疑惑を持たれ、鎌倉方から追われる身となります。義経は、弁慶や忠実な従者とともに西国へ逃れようと、摂津の国大物の浦へ到着します。義経の愛妾、静(しずか)も一行に伴って同道していましたが、女の身で困難な道のりをこれ以上進むことは難しく、弁慶の進言もあって、都に戻ることにしました。別れの宴の席で、静は舞を舞い、義経の未来を祈り、再会を願いながら、涙にくれて義経を見送ります。静との別れを惜しみ、出発をためらう義経に、弁慶は強引に船出を命じます。すると、船が海上に出るや否や、突然暴風に見舞われ、波の上に、壇ノ浦で滅亡した平家一門の亡霊が姿を現しました。なかでも総大将であった平知盛(とももり)の怨霊は、是が非でも義経を海底に沈めようと、薙刀を振りかざして襲いかかります。弁慶は、数珠をもみ、必死に五大尊明王に祈祷します。その祈りの力によって、明け方に怨霊は調伏されて彼方の沖に消え、白波ばかりが残りました。

【見どころ】

誰もが知る義経や弁慶、静御前が登場するわかりやすい能で、弁慶を中心に物語はテンポよく進みます。この曲の前後のシテは、美しい白拍子と恐ろしい怨霊という、まったく異なった役柄となっています。優美さと勇壮さの対照で織りなされ、前場には優美な舞が、後場では薙刀を振るう荒々しい舞働が用意されており、謡い・囃子の強弱、緩急も全く異なったものとなります。変化に富む大変劇的な曲です。また、舞台が大物の浦の船宿から大海原へ展開していく様子は、作り物の舟だけで見せていきます。ここは、アイの船頭の腕の見せ所で、船をこぎながらのワキとのやりとりや嵐が始まってからの棹さばきなど、本当に荒れ狂う海が見えるかのような所作が見られます。

平成30年3月11日(日) 午後2時開演(午後1時30分開場/午後4時30分終演予定)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

[全席指定] 一般3,000円/65歳以上、障害者及びその介助者2,500円/青少年(24歳以下)1,000円 *就学前のお子様はご遠慮ください。
◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き(この取り扱いは財団のみです)

12月10日(日)午前9時予約開始 財団の発売初日はインターネット、電話予約のみです。初日の電話予約は1回の申し込みにつき6枚まで。

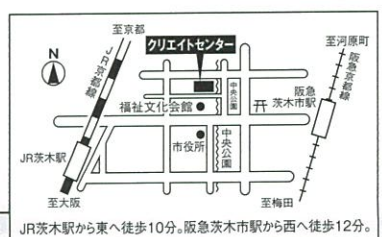
◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(午前9時~午後5時)/インターネットチケット www.ibabun.jp
予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

◎クリエイトセンター1階チケットカウンター(午前9時~午後5時) ◎福祉文化会館3階チケットカウンター(午前9時~午後5時)
*インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)でご精算・受取いただけます。(要手数料108円)
*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。払込手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。(払込口座) 00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団

◆その他プレイガイド(12月10日店頭販売あり 午前10時~)

ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応)・Lコード予約 0570-084-005(Lコード55710) <http://l-tike.com/>
*ローソンチケットの取り扱いチケットはローソン、ミニストップ各店舗で直接購入できます。
チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード481-531) <http://pia.jp/>
*チケットぴあの取り扱いチケットはセブンイレブン、サークルK、サンクス各店舗で直接購入できます。



◆主催:(公財)茨木市文化振興財団 ◆制作:(公財)山本能楽堂/三栄企画 ◆後援:茨木商工会議所/茨木市観光協会